

文字は 10.5 ポイント以上とし、単年度事業及び複数年度事業（2 年目）の事業者は 10 枚以内、複数年度事業（1 年目）の事業者は 14 枚以内としてください。

1. 申請の

事業者名	A 技研工業株式会社			
事業の名称 (50 文字以内)	(例) ○○○○の研究開発 又は △△△△に関する実証実験			
事業期間	令和 7 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月			
事業者区分	中小企業 複数年度事業の場合には、2 年間の事業期間を記載してください。			
愛知ブランドイノベーションアワードの受賞	有	<input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 ⇒	2023 年度受賞
パートナーシップ構築 宣言の登録状況	公表済 <input checked="" type="checkbox"/>		登録申請中	未登録
事業継続力強化計画 認定状況	有	<input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 ⇒	2024 年 10 月認定
愛知県「休み方改革」 プロジェクト	休み方改革マイスター <input checked="" type="checkbox"/>		イニシアチブ賛同企業 <input checked="" type="checkbox"/>	「休み方改革」取組実施 <input checked="" type="checkbox"/>
経営革新計画の承認	有	<input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 ⇒	承認年月 2024 年 5 月

応募時に有効な期間の経営革新計画の承認を受けている場合は、「有」にチェックし、承認年月を記載してください。

2. 事業の目的及び内容

① 現在、事業を取り巻く環境がどうなっており、その現状との関係で、何を研究開発又は実証するのか。

《記載例》

当社はこれまで、○○などの自動車部品等の製造を行ってきた。
今後成長が期待される次世代自動車分野において、更なる燃費性能向上のためには、車体の軽量化が必須であり、取引先自動車部品メーカーから部品の軽量化の要求が高まっている。
また、近年、取引先自動車部品メーカーは、生産拠点を海外に移転しており、○○などの部品の現地調達が進んでいることから、価格面で優位性のある海外の部品メーカーとの競合が起きており、これに対抗するには、より高強度で低価格な製品を製造する必要がある。
こうした現状から、○○を極薄化し、高強度、低価格、軽量化を実現する新たな自動車用○○の研究開発を行う。
ただし、○○を極薄化するためには、材料に△△を使用する必要があるが、△△は加工技術が確立されていないことから、精製プロセスに非常に手間がかかるなどの課題があり、自動車用途への拡大には大幅なコストダウンが必要である。

適宜、図や表を用いて、具体的に、わかりやすく記載してください。

② 事業に用いる技術シーズの内容・特徴（独自性、新規性、知的財産等）について。

本研究開発に用いる自社の技術について、その強み・特徴を記載してください。
記載にあたっては、独自性、新規性を分かりやすく記載するとともに、
関連する特許等知的財産があれば記載してください。

適宜、図等を用い、一般的な表現を用いる等、わかりやすく記載してください。
難解な専門用語を用いる場合は、本様式 5 ④「専門用語等の解説」に記載してください。

③ 事業における数値目標及びそれを達成するために実施する内容

(◆複数年度事業(1年目)の場合は、年度毎の目標を記載してください。)

《記載例》※記載の参考一例です。

「事業の目標値(数値目標)」

・○○部品の軽量化

2025年度 既存製品比 20%軽量化

2026年度 既存製品比 30%軽量化

・◎◎加工の時間短縮(現状3時間)

2025年度 3時間→1時間

2026年度 1時間→0.5時間

事業の目標について、数値を用いて記載してください。
また、目標を達成するために実施する内容について、
具体的に記載してください。

◎◎加工の時間短縮に向け、当社は○○に関する技術を有しているが、△△に関する知見が乏しいため、△×技術センター(公設試験研究機関)との協同により……。手法としては……。○○製品の軽量化を実現するため、具体的な手法として…….を行い、…….

④ 事業経費について

【事業経費の内訳】(詳細は別紙3:経費内訳明細書のとおり)

(◆複数年度事業(1年目)の場合は、年度毎の経費を記載してください。)

(単位:円)

	区分	2025年度	2026年度	計
研究開発・実証実験	部品・原材料費	1,500,000	3,000,000	4,500,000
	機械装置費	9,500,000	1,500,000	11,000,000
	委託・外注費	4,000,000	4,000,000	8,000,000
	◆知的財産権取得費		500,000	500,000
実証実験のみ	補助員人件費			
	実証実験協力費			
	広報宣伝費			
	諸経費			
合計		15,000,000	9,000,000	24,000,000

◆知的財産権取得費は、複数年事業のみ対象です。

◆2年目の予定額は、1年目の経費を超えない額としてください。

【事業資金の調達について】（国など他補助金等の申請等状況についても表外に記載）

（◆複数年度事業（１年目）の場合は、年度毎に記載してください。）

（単位：円）

	2025 年度	2026 年度	備考
自己資金	3,000,000	2,000,000	
借入金	2,000,000	1,000,000	○×銀行より融資
補助金	10,000,000	6,000,000	新あいち創造研究開発補助金
その他	0		
合計	15,000,000	9,000,000	

○現在申請中の他補助金等について

名称：○○○○年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（経済産業省）

テーマ：○○○○の研究開発

申請額：10,000,000 円 採否決定予定時期：○○○○年○月頃

※上記事業採択の場合、本補助金を辞退。

3. 事業計画及び事業実施方法について

① 事業計画について

【事業スケジュール】 別紙２：事業工程表のとおり。

【事業実施体制について（協力者を含む事業参加者の役割分担、実施能力）】

事業協力者を含め、事業に参加する者と役割分担が明確にわかるように記載するとともに、研究開発や実証実験を実施するうえで必要な技術的能力を記載してください。（**箇条書き**と**概略図の２パターン**で記載してください）

《記載例》

箇条書き

それぞれの項目ごとに、事業の主な実施場所を記載してください。

(1) A技研工業(株)（実施場所：名古屋市中区三の丸○-○-○）

当社は、……に強みを持っており、今回の研究開発の基礎となる○○に関する技術や……を有している。

それを活かし、……を行い、また、……を行う。

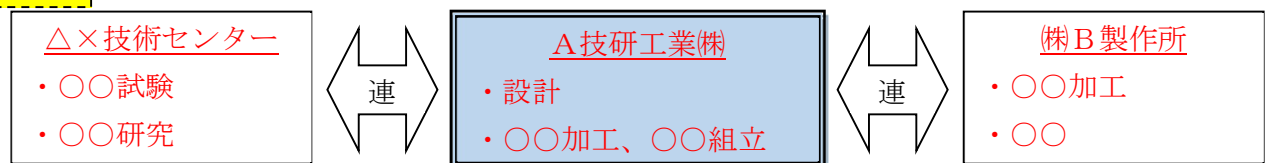
(2) ㈱B製作所（実施場所：○○市）

㈱B製作所は、……の経験を有していることから、……加工を行い、また、……を行う。

(3) △×技術センター（実施場所：△△市）

△×技術センターは、……を保有しており、また、今回の研究開発に必要な……の技術に知見を有するため、……の試験、……の研究を実施する。

概略図



② 事業実施方法について

【導入する機器・システムの種類とその機能、台数及び設置場所について】

(◆複数年度事業(1年目)の場合は、年度毎に導入計画を明らかにして記載してください。)

導入する機器・システムの機能について、一般向けにわかりやすい説明としてください。
導入する機器・システムの設置場所は、愛知県内としてください。

《記載例》

【2025 年度】

導入する機器・システム	機能	台数	導入時期	設置場所
自動〇〇装置	△△を加工するために必要となる・・・・・・機能を有する装置。	1	2025 年 10 月	本社技術研究所 (〇〇市)
●●●●	・・・・・・			

【2026 年度】

導入する機器・システム	機能	台数	導入時期	設置場所
〇〇システム	・・・・・・の精度向上のため、・・・・を正確に測定できるシステム。	1	2026 年 6 月	本社技術研究所 (〇〇市)
●●●●	・・・・・・			

【どのようなデータを収集し、検証・評価するのか。そこからどういう結論等が期待されるのか】

《記載例》※記載の参考一例であり、説明のため単純化しています。

素材の性質を把握したうえで、様々な加工条件において、工具の摩耗量や・・・などを検証する。そこから、最適な加工条件を特定する。

4. 事業を行う意義、効果等（数値を用いて具体的に記載すること）

① 研究開発においては、どのような新規性を有するのか。実証実験においては、新規性のほか、モデル事業として、どのようなPR効果や波及効果を有するのか。

研究開発、実証実験において、今回開発する製品等や実証する取組等が従来のものと比べ、どういった点で新規性を有するのか、客観的な項目や数値に基づき記載してください。

また、実証実験においては、PR効果や波及効果（新たな実証実験が展開される等）も記載すること。

《記載例》当社の有する◎◎技術を確立することで、一般に市販されている既存の製品と比較して、・・・・・・に関し〇〇%の品質向上、〇〇%のコスト低減・・・・・・。

② 自社における事業化の可能性、事業化した場合の効果（雇用面を含む）はどの程度であると見込まれるのか。

《記載例》

試作品開発の終了後、部品メーカー等と共同で実証実験を行い、製品化に向けた課題の検証を行う。その後、その課題をもとに改良を重ね、製品の具体的な仕様を決める。

〇〇〇〇年度の量産化に向け、下表のようなスケジュールで行っていくこととする。
〇〇が製品化されると、現状の従業員数◇◇人、総売り上げ****千円が、〇〇〇〇年度には、従業員数□□人、総売り上げ★★★★千円になるものと見込んでいる。

また、本県での取引先も新たに**社増え、本県内での売上額は△△△千円になるものと見込んでいる。

2025 年度を基準とし、当補助事業による増加見込みを記載してください。
複数年事業（1 年目）の場合は、2026 年度を「研究開発継続予定」として記載してください。

○補助事業終了後 5 年間の事業化スケジュール、当事業による売上げ・雇用増加見込み(2025 年度対比)

	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度
工程	研究開発 継続予定	量産化検討	設備整備	量産化開始	
売上高（千円）		0	0	+10,000	+50,000
従業員数（人）		+1	+5	+10	+20

③ 上記②のほか、市場の新規開拓・拡大や地域資源の活用など、本県経済にどのような効果が見込まれるのか。

《記載例》

〇〇の製品化が実現すれば、海外の部品メーカーよりも価格面、技術面で優位に立ち、……の新規受注も期待できることから……。

今回の補助事業では、次世代自動車分野に初参入となる県内中小企業とともに事業を進め、今後成長が期待できる次世代自動車分野への参入を促すことで、本県の中小企業の産業競争力強化につながる。

④ その他、自社の技術優位性等、特にアピールする事項は何か。

◎デジタル(AI)・カーボンニュートラル枠の申請者においては、申請分野（デジタル(AI)分野、カーボンニュートラル分野）における自社の技術優位性等のアピールポイントを必ず記載してください。
・その他の申請者においては、自社のアピールポイント等を記載してください。
・県の認定計画等に基づいて実施する事業である場合は、その旨を記載してください。

《記載例：デジタル(AI)・カーボンニュートラル枠における参考一例》

当社は、本県〇〇〇〇〇〇の発展に資する取組を行っており、なかでも〇〇技術（高効率△△△開発、■■■■材料など）において、独自の特許技術（特許出願中）・ノウハウを有している。当該技術は、従来技術と比較して〇〇%の効率向上（耐久性向上）を実現している。これにより、〇〇関連設備である〇〇の長期的な運用コストの削減や安全性が向上する。

本補助金を活用することで、当社、〇〇技術のさらなる効率向上（耐久性向上）を目指す。
なお、当事業は、〇〇〇〇年〇月に承認された☆☆計画（テーマ：〇〇〇〇）に基づき、計画的に実施するものである。

5. その他参考情報

① 2020～2024 年度の新あいち創造研究開発補助金採択案件の概要と進捗状況

年度	事業の名称・概要・現在の進捗状況 (250 文字以内)	事業化スケジュール進捗状況	
2020	事業の名称「□□□□の研究開発」 〇〇の分野で課題となっている△△を解決するため、～に関する技術開発に取り組み、2021 年 3 月に試作品が完成し、2023 年 4 月より製品販売を開始した。 <div>各事業で 1 行とし、必要に応じて、行を追加して記載してください。</div>	進捗※	○
		売上高 (千円)	5,000
		従業員 (人)	2
		申請事業 との関連性	×
2023	事業の名称「～～～の研究開発」 〇〇の分野で課題となっている△△を解決するため、～に関する技術開発に取り組み、2024 年 8 月に試作品が完成したが、××において技術上の課題があり、継続して研究を行っている。	進捗※	△
		売上高 (千円)	0
		従業員 (人)	0
		申請事業 との関連性	○

※○：計画通り（見込み以上） △：見込みを下回っている ×：中断または廃止

※枠が不足する場合は、枠を追加して記載してください。

② 2020 年度以降の国・県補助事業採択案件の概要と進捗状況

年度・補助事業名	事業の名称・概要・現在の進捗状況
2023・〇〇〇補助金	事業の名称「□□□□の研究開発」 〇〇の分野で課題となっている△△を解決するため、～に関する技術開発に取り組み、2024 年 3 月に試作品が完成した。 <div>新あいち創造研究開発補助金の他に国・県補助事業採択案件がある場合は、その概要と進捗状況を記載してください。</div>

※枠が不足する場合は、枠を追加して記載してください。

③ 記者発表向け事業内容説明

採択決定時に、企業名や事業テーマ等を記者発表します。また、記者発表の際に、簡単な事業内容を紹介する場合があります。

その際の参考とするため、**一般向けの平易な表現**で事業内容を 100 文字程度で記載してください。

事業内容 (100 文字程度) ※事業内容・目的を 一般的な表現 で記載	<div>専門用語ではない一般的な表現で、事業内容がわかりやすいように、100 文字程度で記載してください。</div> <p>△△を使用した自動車用〇〇部品の研究開発である。 △△を材料とすることで、自動車部品の軽量化を実現することができ、 自動車の燃費向上に繋がる取組である。</p>
--	--

④専門用語等の説明

本申請書で使用している業界用語、専門用語及び略号等の特殊用語のうち、実施内容を総合的に理解する上で必要と思われるものについて、わかりやすく、簡単に説明してください。
※特にない場合は空欄でかまいません。

用語	説明
〇〇製法	□□に△△を加え、〇〇を行うことで、成形する製法のこと。
A B C D	〇〇と□□の化合物。 現在の△△より、強度があり、軽いという性質を持っている。